



# MIDGAR UNDERGRouND

## CAPTER1:ティファ敗潰乳滅

Abura  
katabura

since 1995

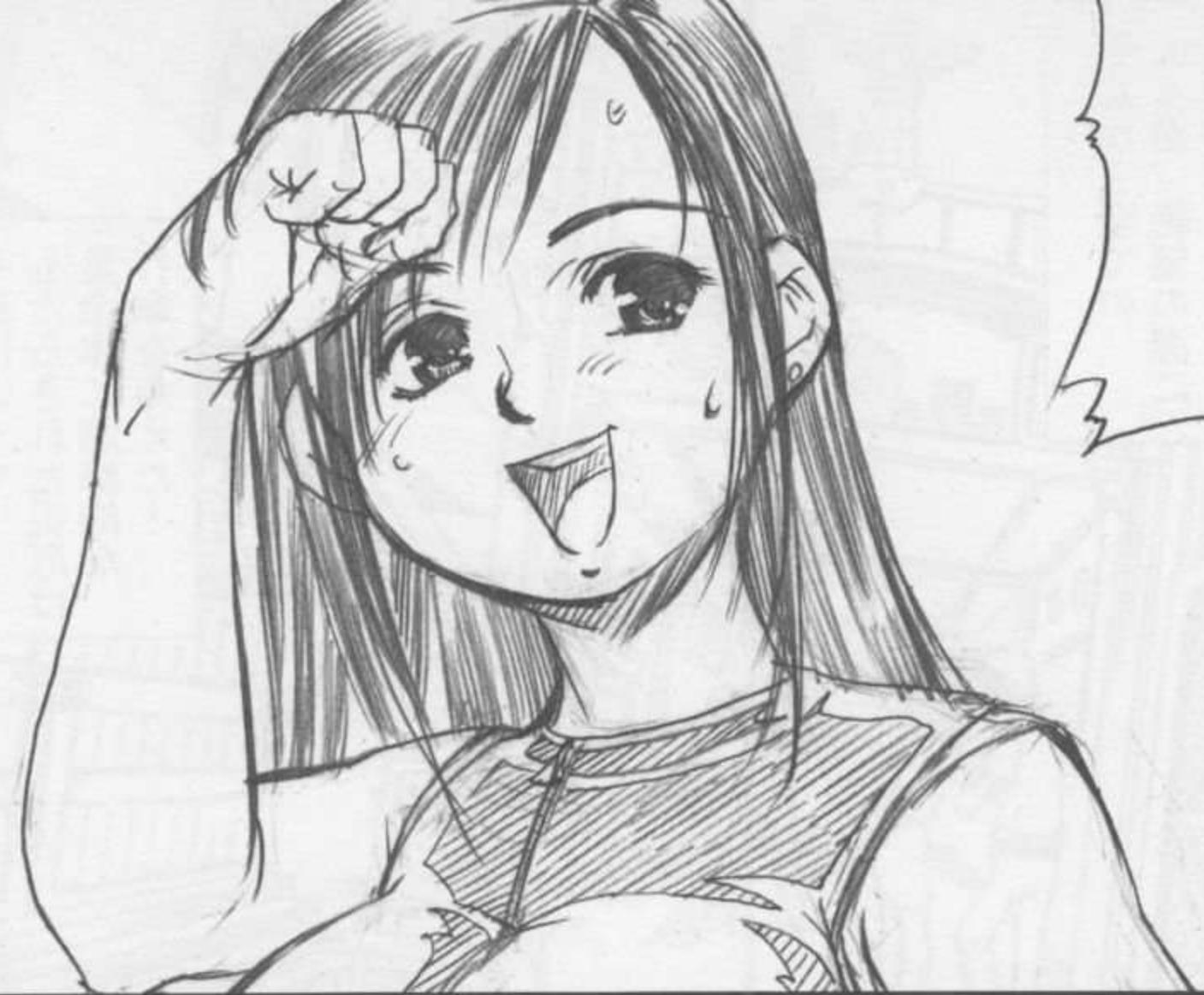
for ADULT only

# **MIDGAR UNDERGRouND**

## **CAPTER1:ティファ敗濁乳滅**

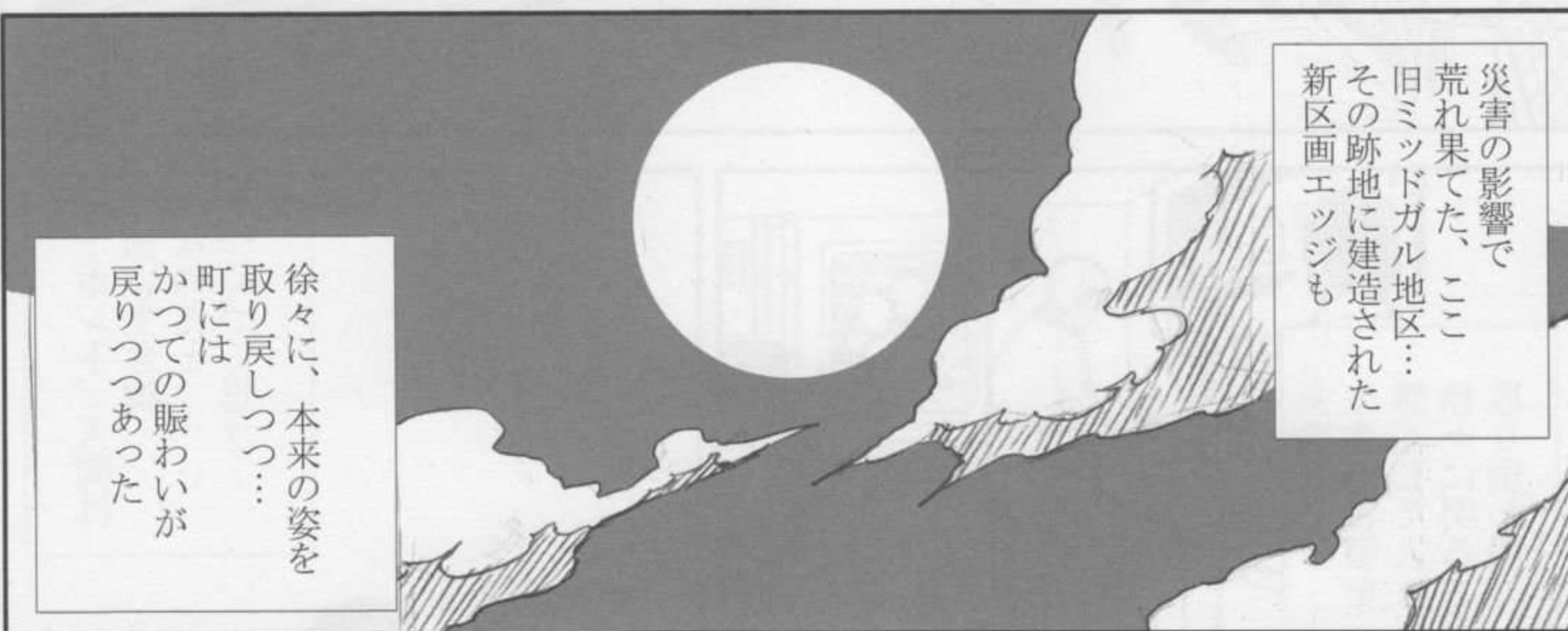


はーい



災害の影響で  
荒れ果てた、ここ  
旧ミッドガル地区：  
その跡地に建造された  
新区画エッジも

徐々に、本来の姿を  
取り戻しつつ：  
町には  
かつての賑わいが  
戻りつつあつたが



ふー  
今日も一日  
頑張りましたあ



：かく言う、私も  
日々の忙しさに  
追い回される毎日







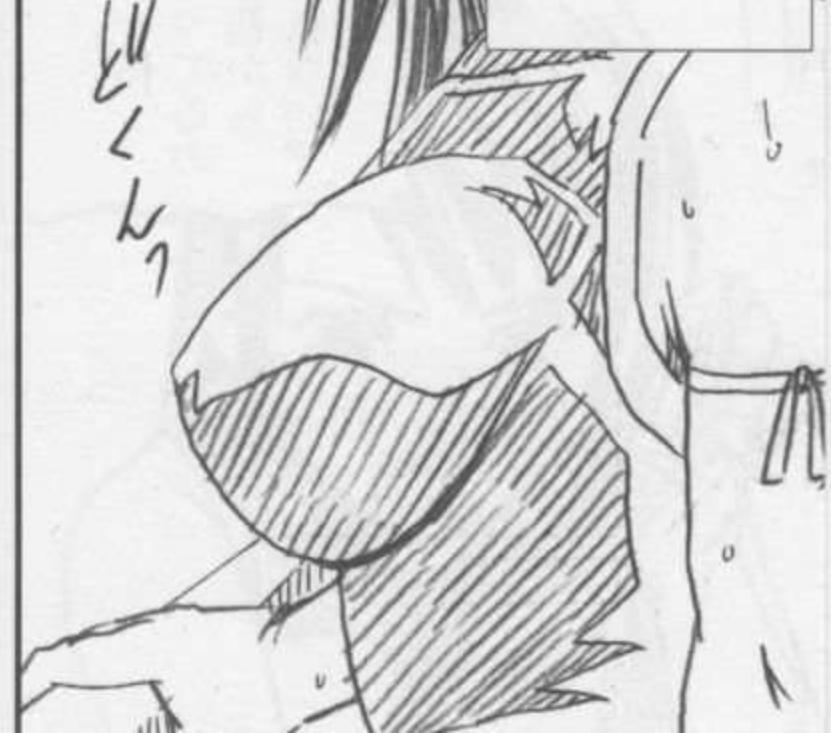




忘れもしない：  
思い出したくもない  
名前だった



きっと  
タチの悪い  
イタズラだわ

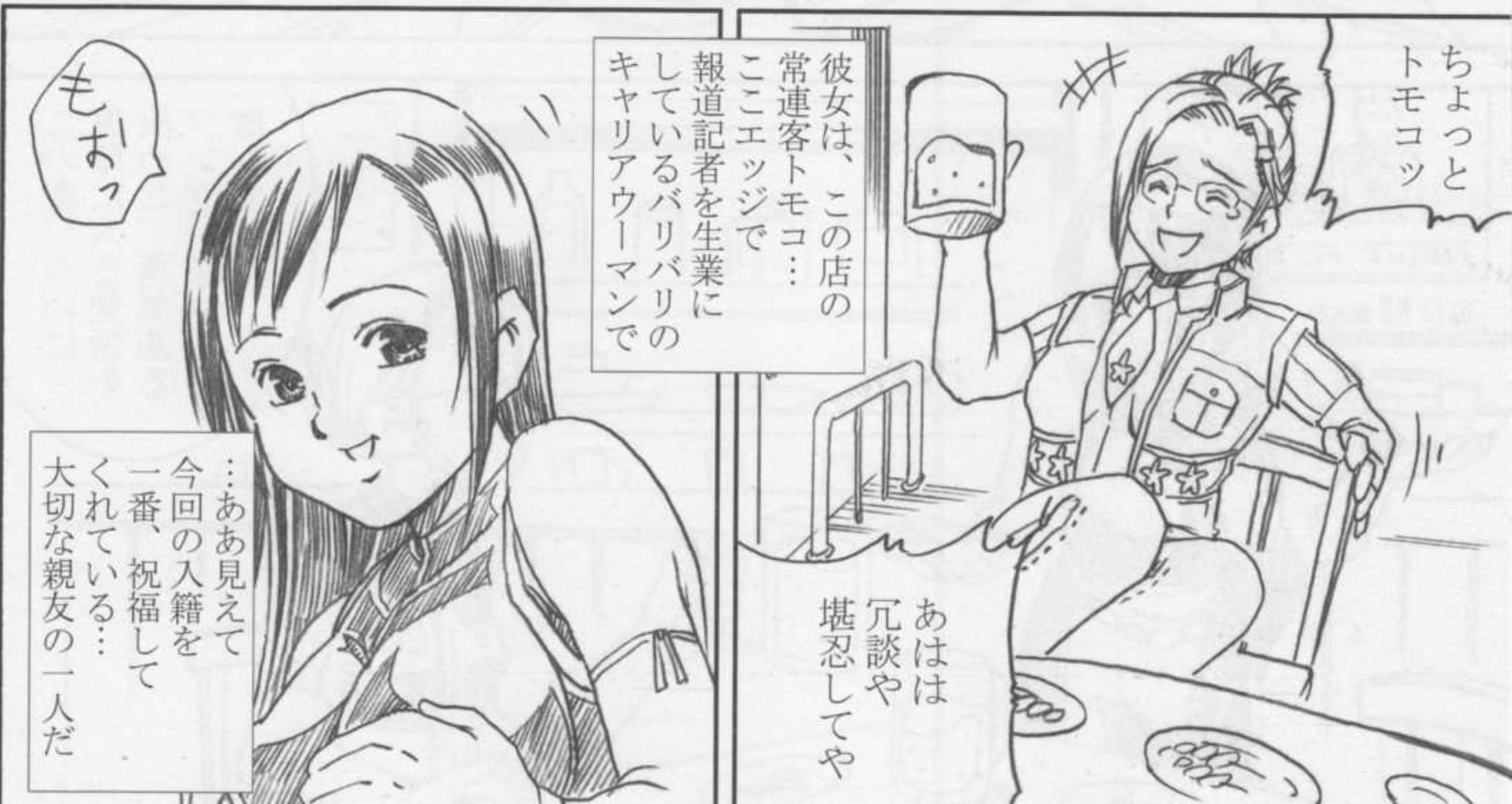
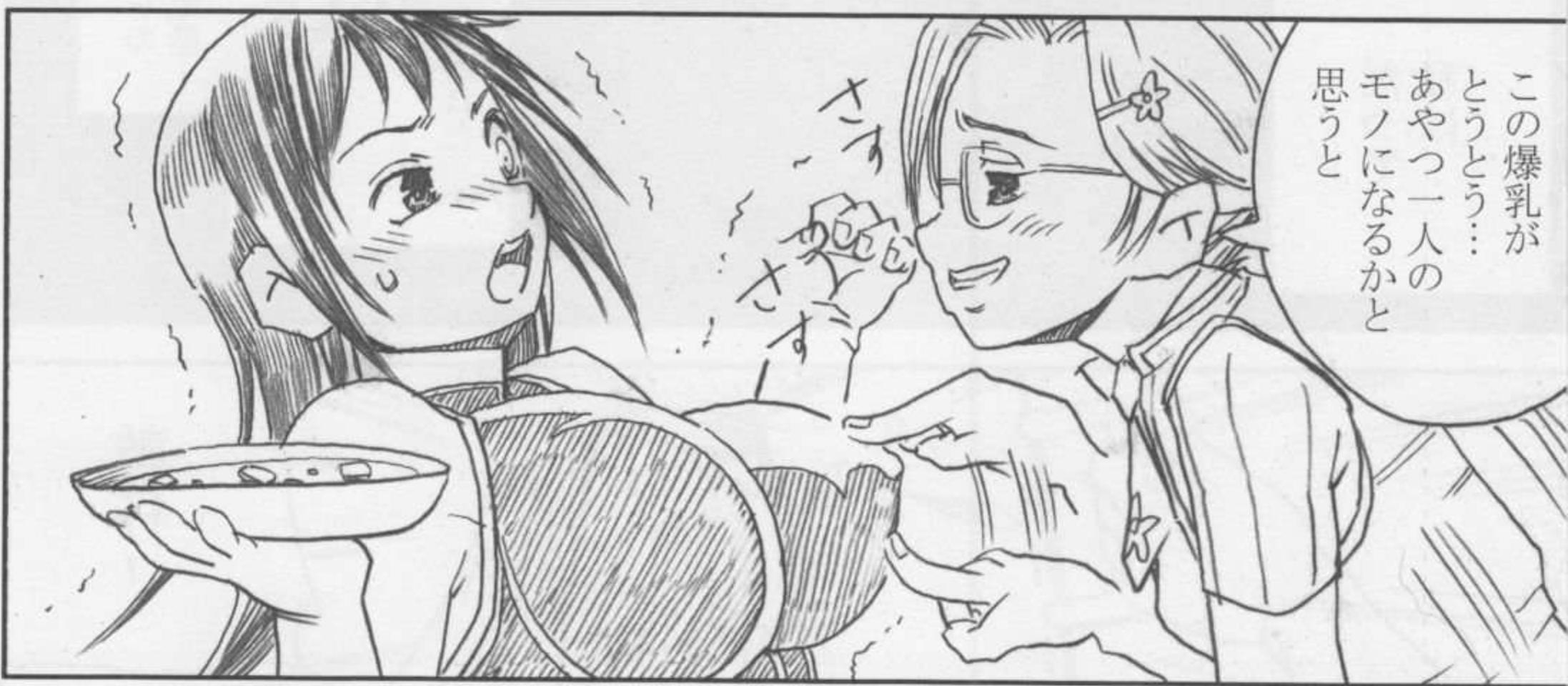


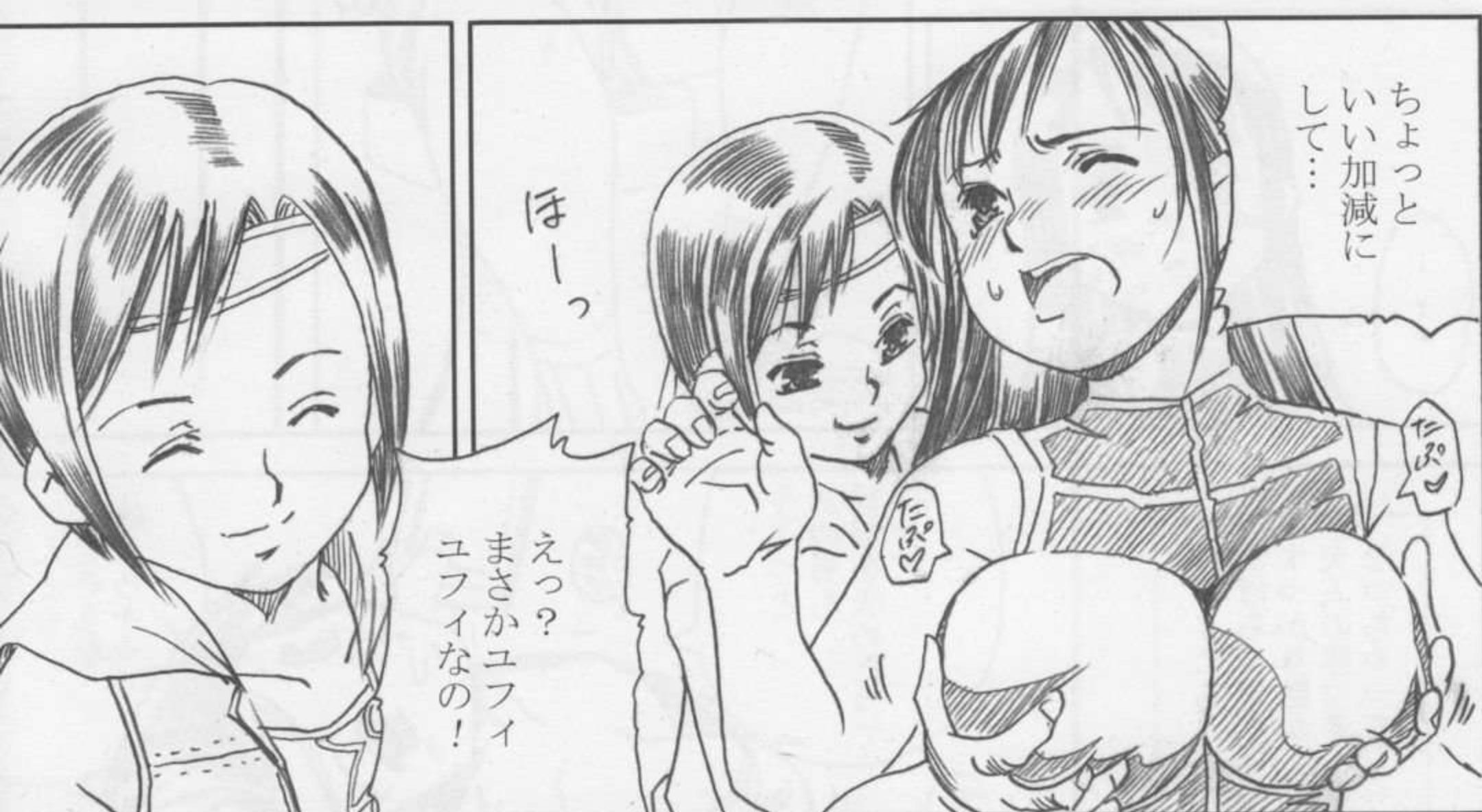
その地の支配者にして  
絶望をもたらす者  
ゼルラー

禍々しき思い出も  
今は、この

都会のネオンの輝きが  
紛らわしてくれる…

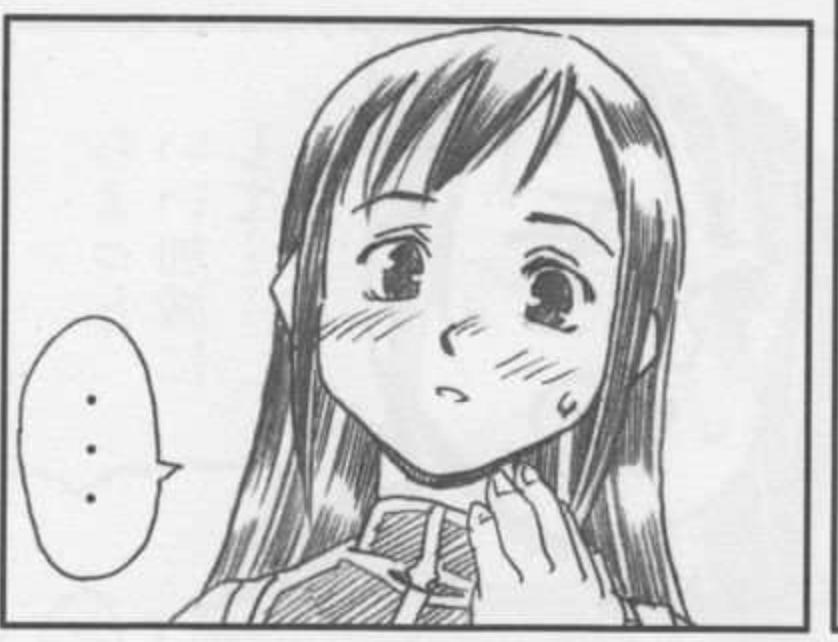


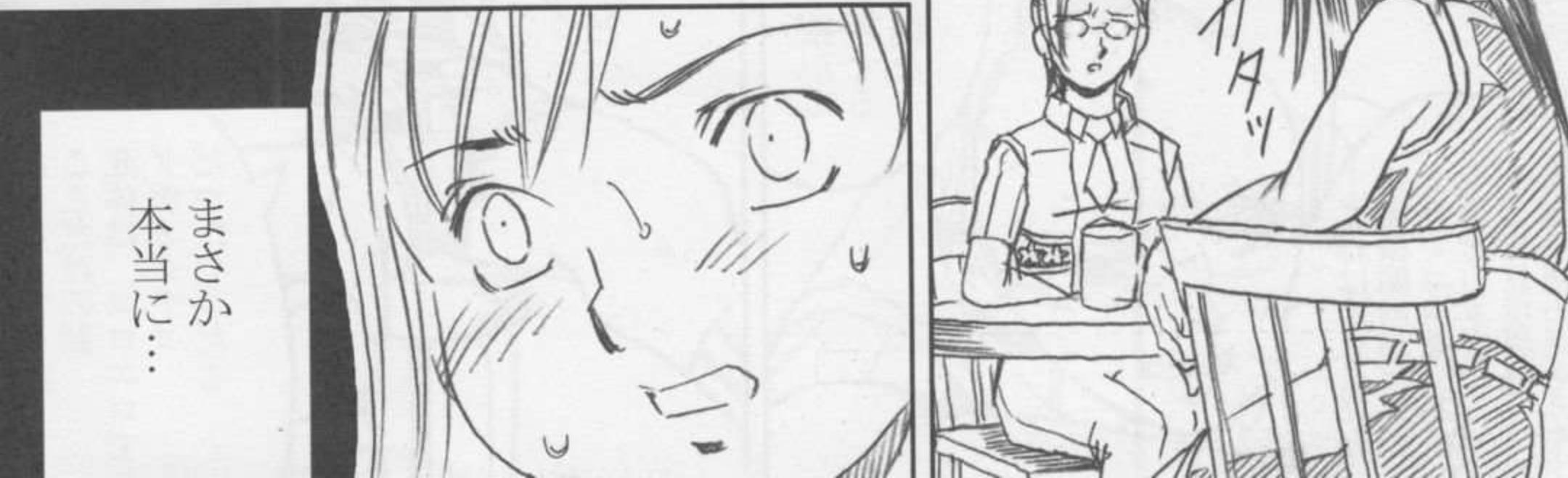
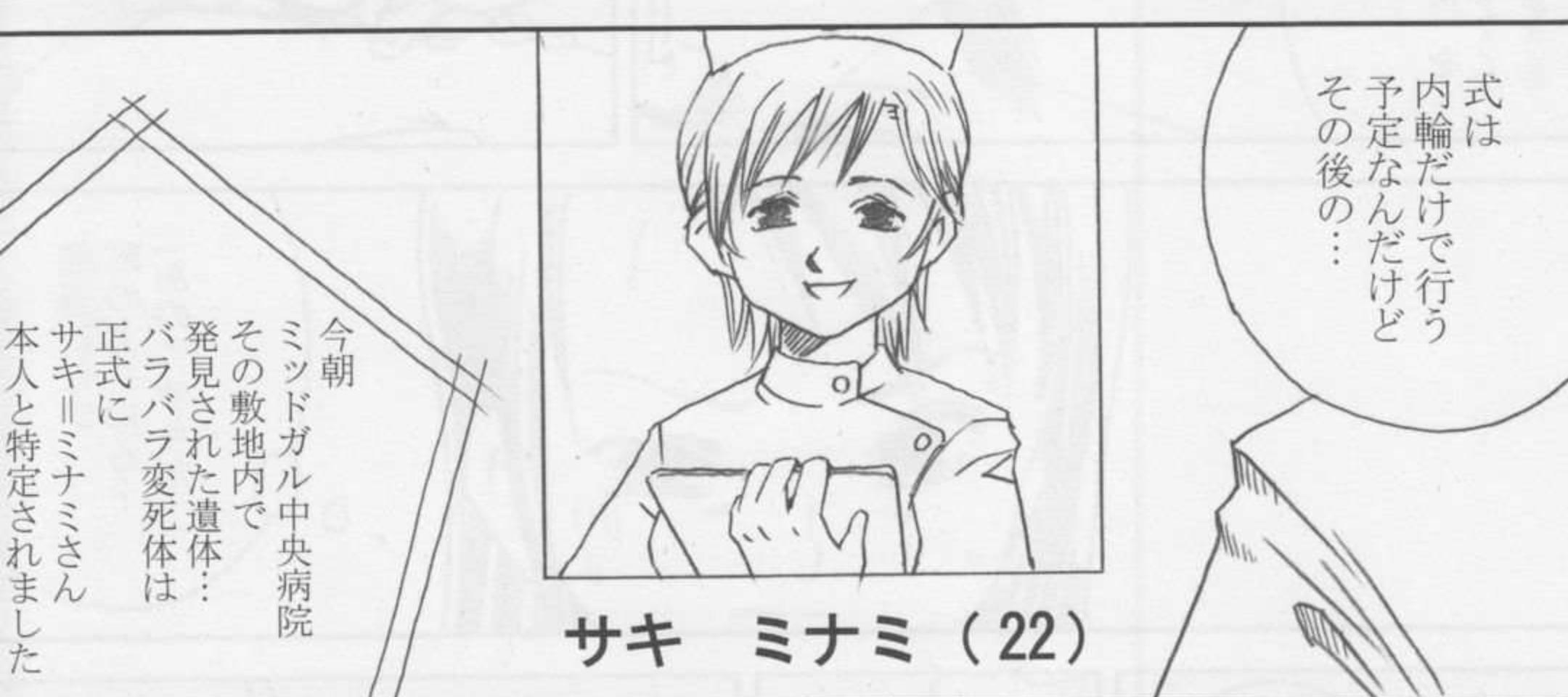






お！  
忍者ユフィちゃん  
目ざとく：  
ご両人の写真立て  
発見だあ！







時代遅れな  
表現やけど…  
「白衣の天使」を  
絵に描いたような  
人物やつたそや



間違いない  
私のよく知る…  
「あの」サキだ



あたり一面を  
覆い尽くす  
大量の血痕と精液

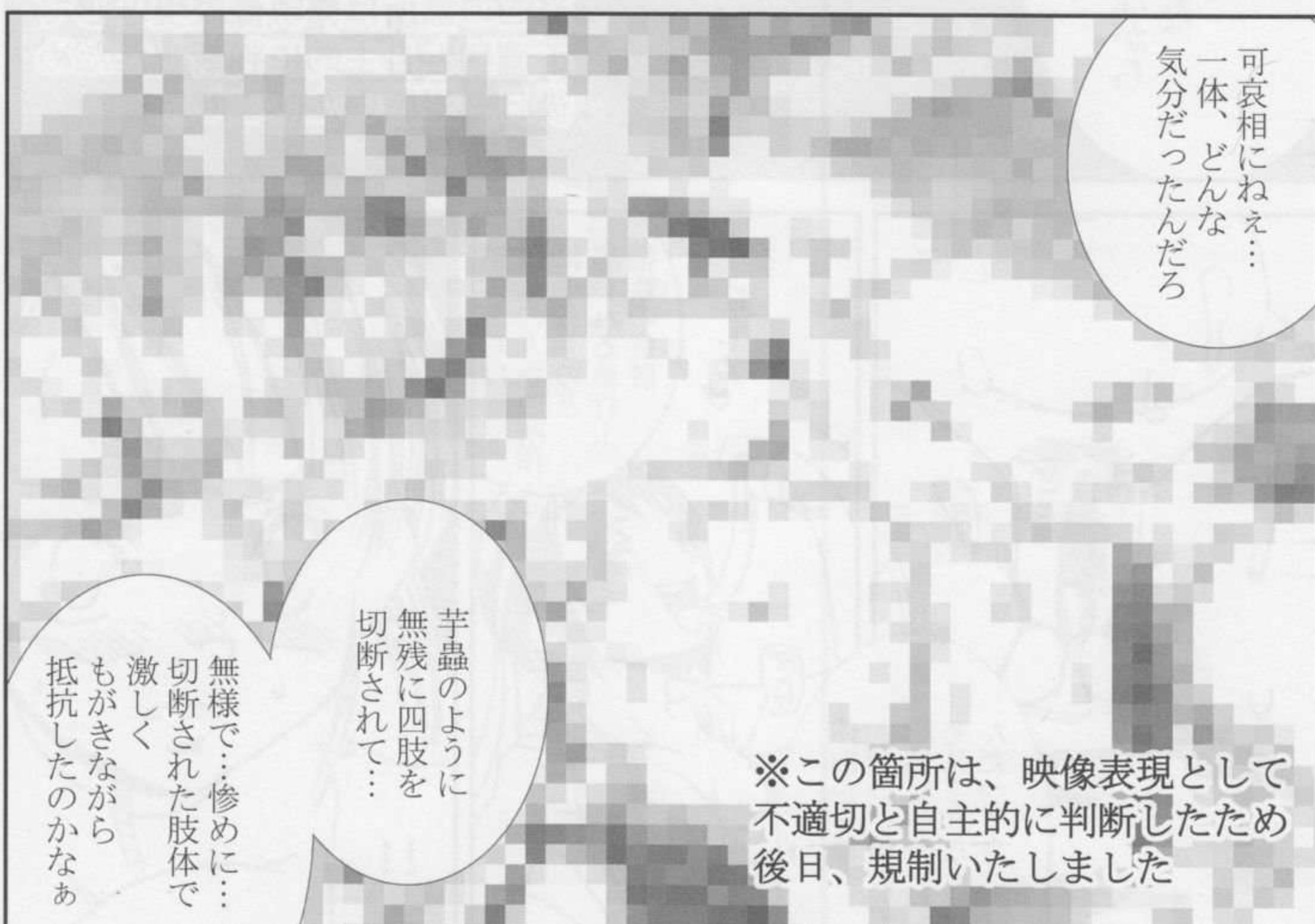
四肢は  
鋭利な刃物か  
何かで、バラバラに  
切断され：

それは…さながら  
「芋蟲」の様な  
状態だつた  
そよう

※この箇所は、映像表現として  
不適切と自主的に判断したため  
後日、規制いたしました



でもね  
不思議な事に  
その死に顔は



狂気に駆られた  
男達に  
無理矢理  
輪姦されて…

幾度となく…  
突かれ  
膣内射精されて

四肢を奪われた  
芋蟲サキちゃんは…  
薄れゆく意識の中  
身も心も  
犯され尽くして

※この箇所は、映像表現として  
不適切と自主的に判断したため  
後日、規制いたしました

激しくイッちゃった  
んだろうなあ  
屈辱的な光景が  
目に浮かぶねえ…

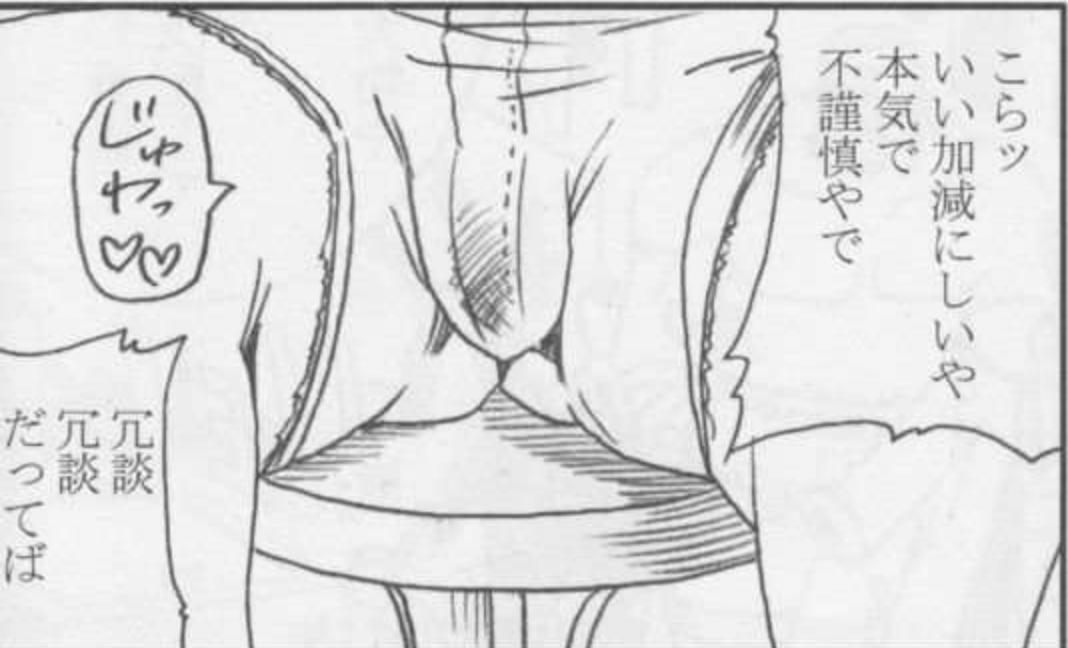
こらッ  
いい加減にしいや  
本気で  
不謹慎やで

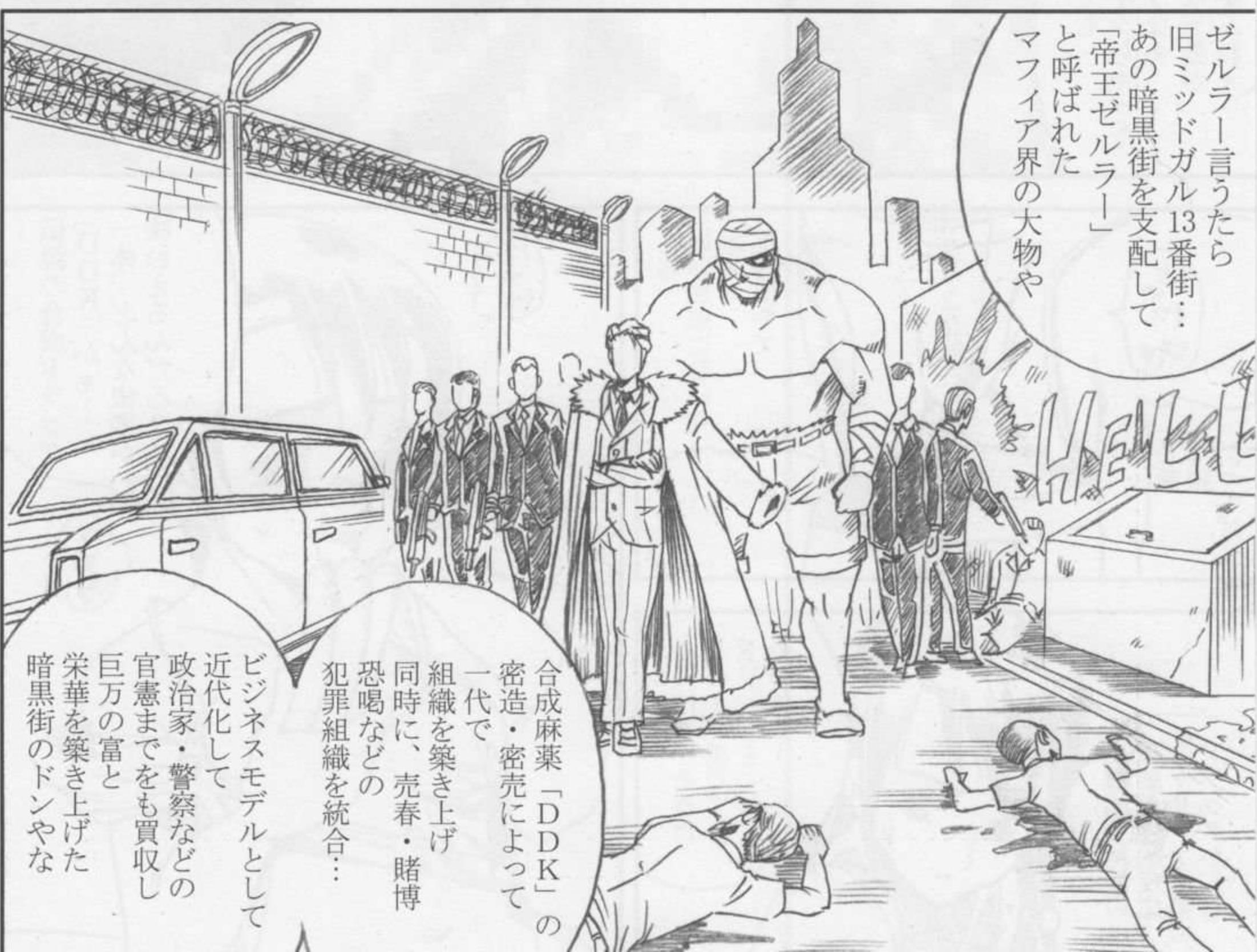
伝説の合成ドラッグ  
「DDK」かあ…  
一体、どんな快楽が  
味わえるんだろ?

冗談  
だつてば

やつぱり、そうだ  
この子、感じて…  
ドラッグを  
やってる!

皮膚感覺神經の  
過敏な性的反応  
：マリファナ系の  
ドラッグかしら





…そして、あの有名な  
「肉蟲淫獄館」と  
呼ばれる高級娼館を  
自らの猟奇的嗜好を  
満たすためだけに  
作った男

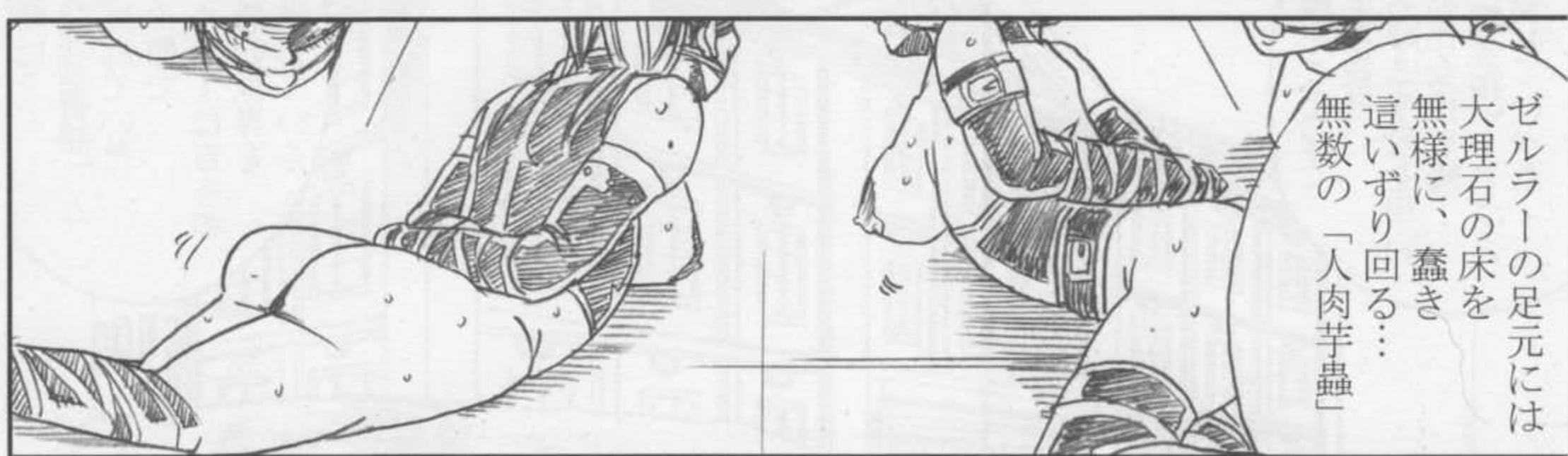
この子、トモコには  
見えない位置で  
ワザワザ、私だけに  
見せつけて…





蟲を愛する…  
帝王ゼルラー  
その異常性欲の  
追求の果てに完成した  
頽廃と享楽の館  
「人蝶迎賓館」

その狂気の空間を  
構築するために  
生み出された：  
蝶に擬態された  
「人蝶芸術」の  
数々：



ゼルラーの足元には  
大理石の床を  
無様に、蠢き  
這いざり回る…  
無数の「人肉芋蟲」



…そして  
ゼルラーの異常性は  
それだけに：「人蝶  
芸術」の追求だけに  
留まらなかつた

「肉蛹婦柱」と呼ばれる  
壁を飾るオブジェ

「アゲハ女給」と呼ばれる  
客をもてなす  
ラウンジガール

逃げ出そうとした  
「人蝶芸術作品」は  
容赦なく  
四肢を切断され  
屋敷裏のゴミ捨て場に  
そのまま捨てられた

…その通りだ

：娼婦に限らず  
ゼルラーに  
歯向かう者  
裏切ろうとした者は  
みな例外なく  
ズタズタに切り刻まれて  
処刑された

※この箇所は、映像表現として  
不適切と自主的に判断したため  
後日、規制いたしました

ゴミ捨て場に  
大量に放置される  
バラバラ遺体は  
いつしか  
本物の芋蟲と…

と、影で  
囁かれる様に  
なつたんだって  
〔ゼルラーの肉蟲〕

：でも、そんな  
帝王ゼルラーの  
支配と繁栄の日々も  
長くは続かんかつた…  
神羅グループとの  
抗争激化により  
勢力は縮小…

最後には、13番街の  
シャフトを落とされ  
組織は壊滅的な打撃を受けた  
ゼルラー自身も…  
その場での難こそ  
うまく逃れたものの  
最終的には潜伏先で  
焼かれ、アジトごと  
裏切れられ、アジトごと  
焼かれたそやで

発見された遺体は  
黒焦げで、本人がどうかも  
分からぬほど  
損傷が激しく：何の因果か  
四肢が「芋蟲」のように  
分断していたそやわ

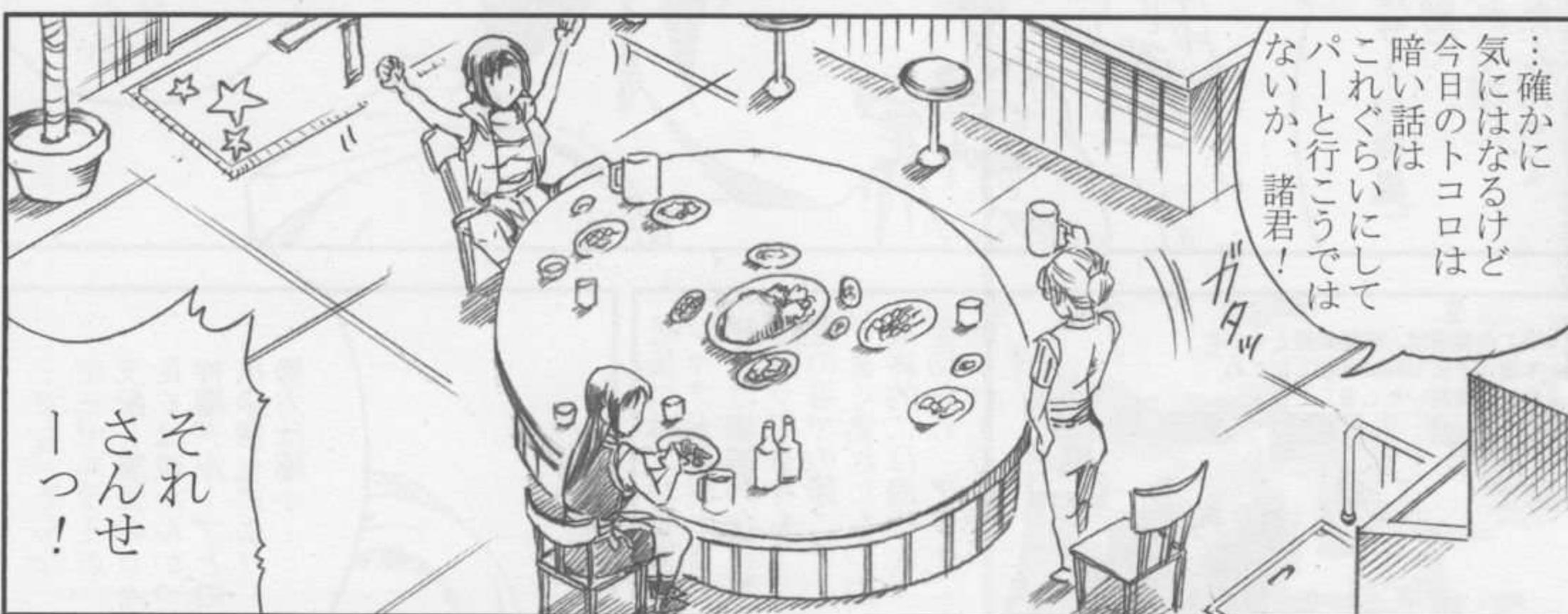


：そう、私は  
知っている  
：確かに  
あの時、あの場所で  
ゼルラーは死んだ

サキだって、その事は  
知っている  
ハズなのに…  
どうして  
電話で、あの子…



：サキさんの  
遺体の損壊状態が  
「ゼルラーの肉蟲」と呼ばれる処刑方法に似ていたのは事実で



：正直  
その後の話は  
よく覚えていない



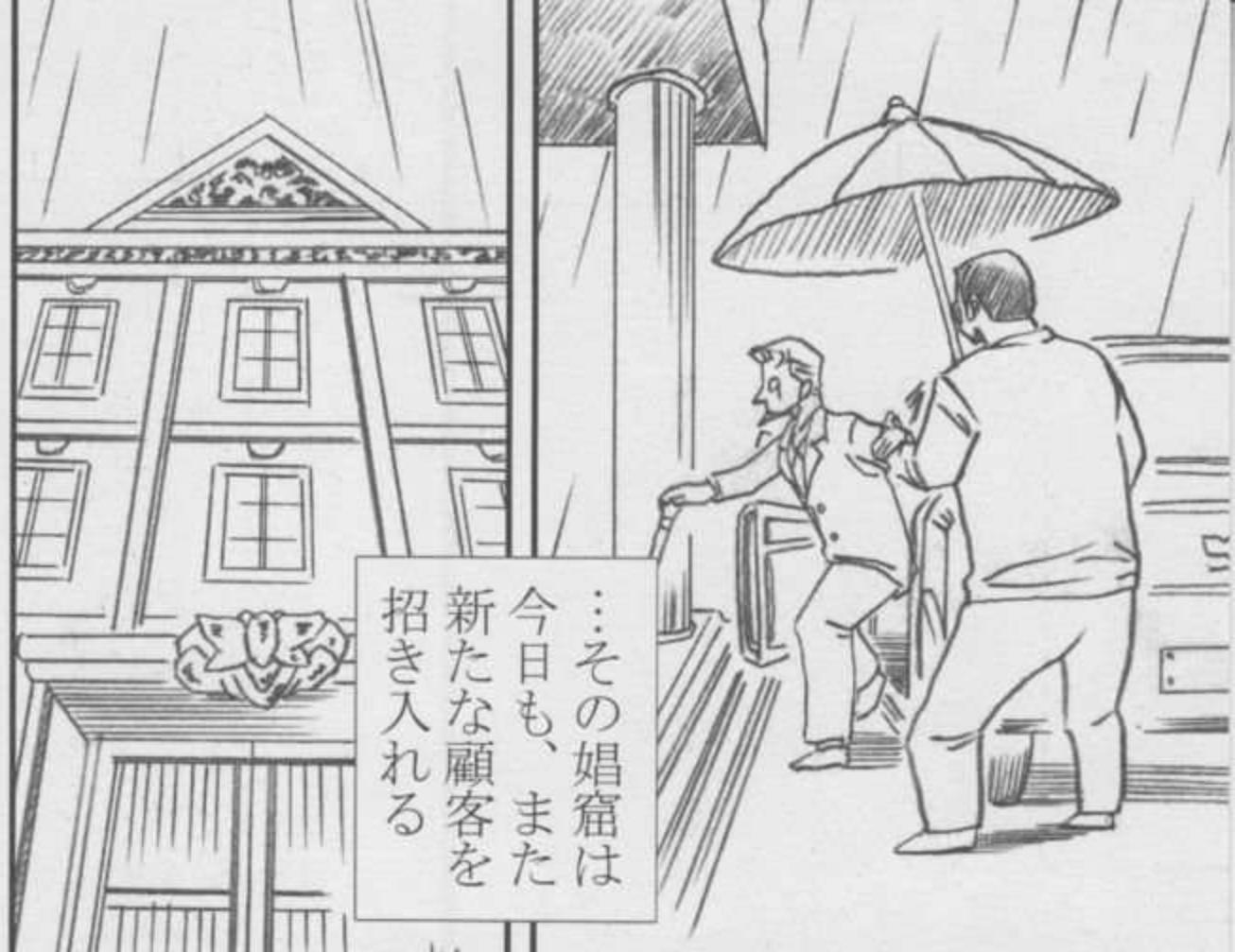
私の頭の中は  
忌まわしい  
過去の記憶と…

「ゼルラーが  
生きていた」  
サキの最後の言葉の…  
それが、もたらす意味を  
考える事で  
一杯だった…

：ああ、少しずつ  
封印して来た過去が…  
目を背け続けて来た  
あの日の記憶が  
否応なく、甦える…



あの…5年前の日々  
「肉蟲淫獄館」と  
後に、呼ばれる  
娼窟での  
おぞましき日々の  
出来事が



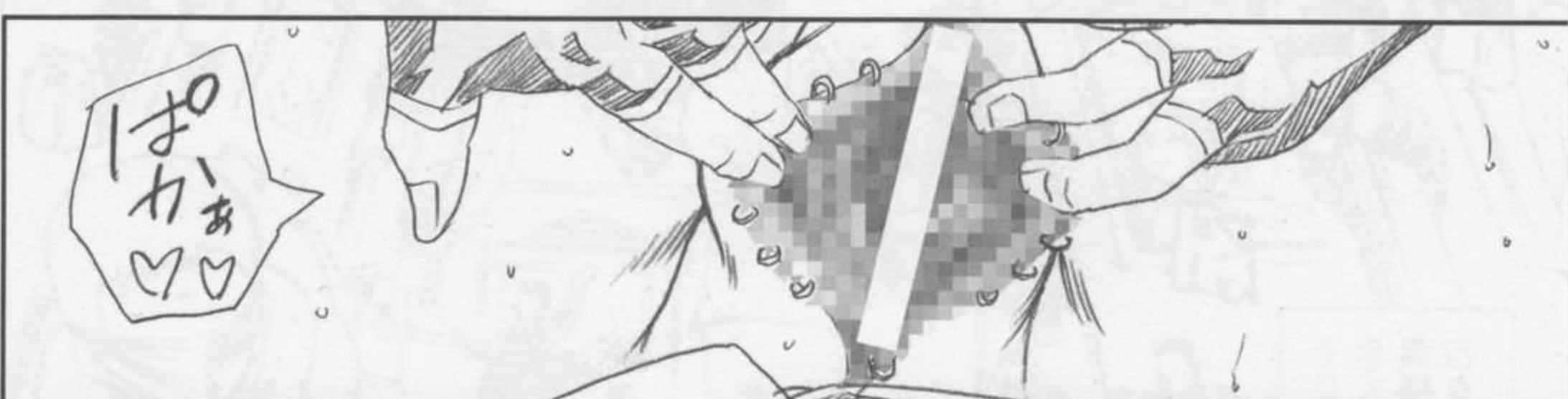
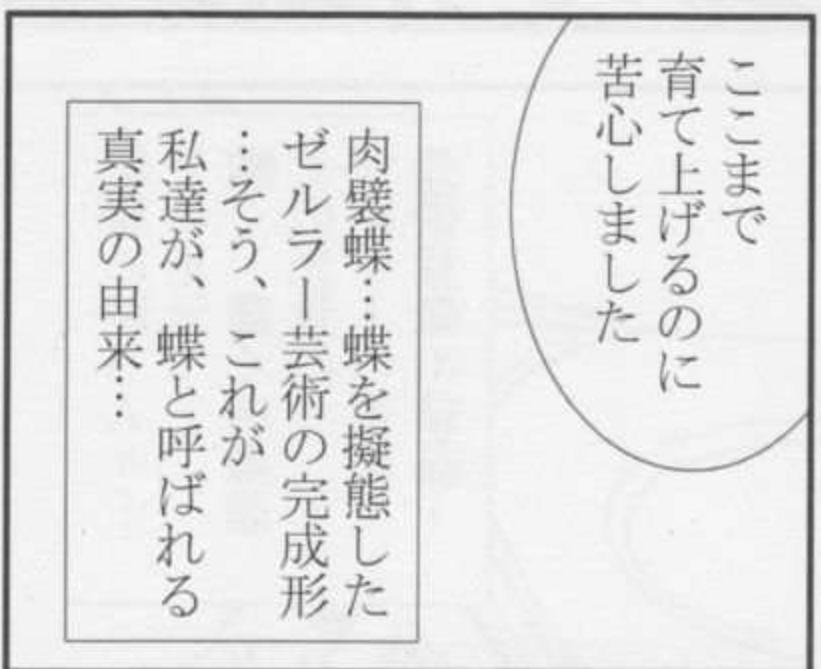


会場を華やかに彩る：  
「アゲハ女給」と  
呼ばれる  
ラウンジガール達





肉蝶麗人：それは  
後に、人々から  
「肉襞蝶」と蔑すまれる  
ゼルラーが最高傑作と  
自負する作品





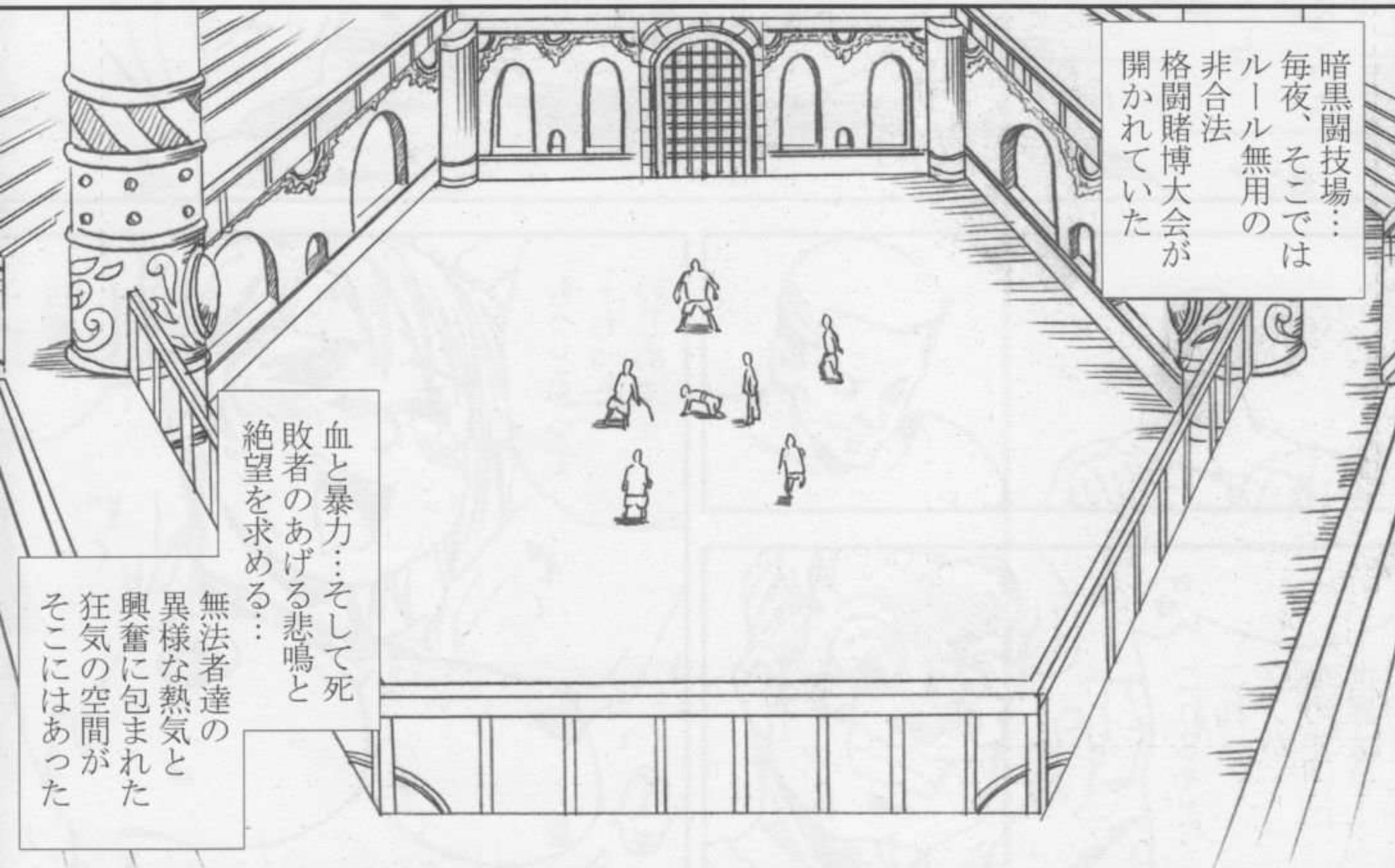
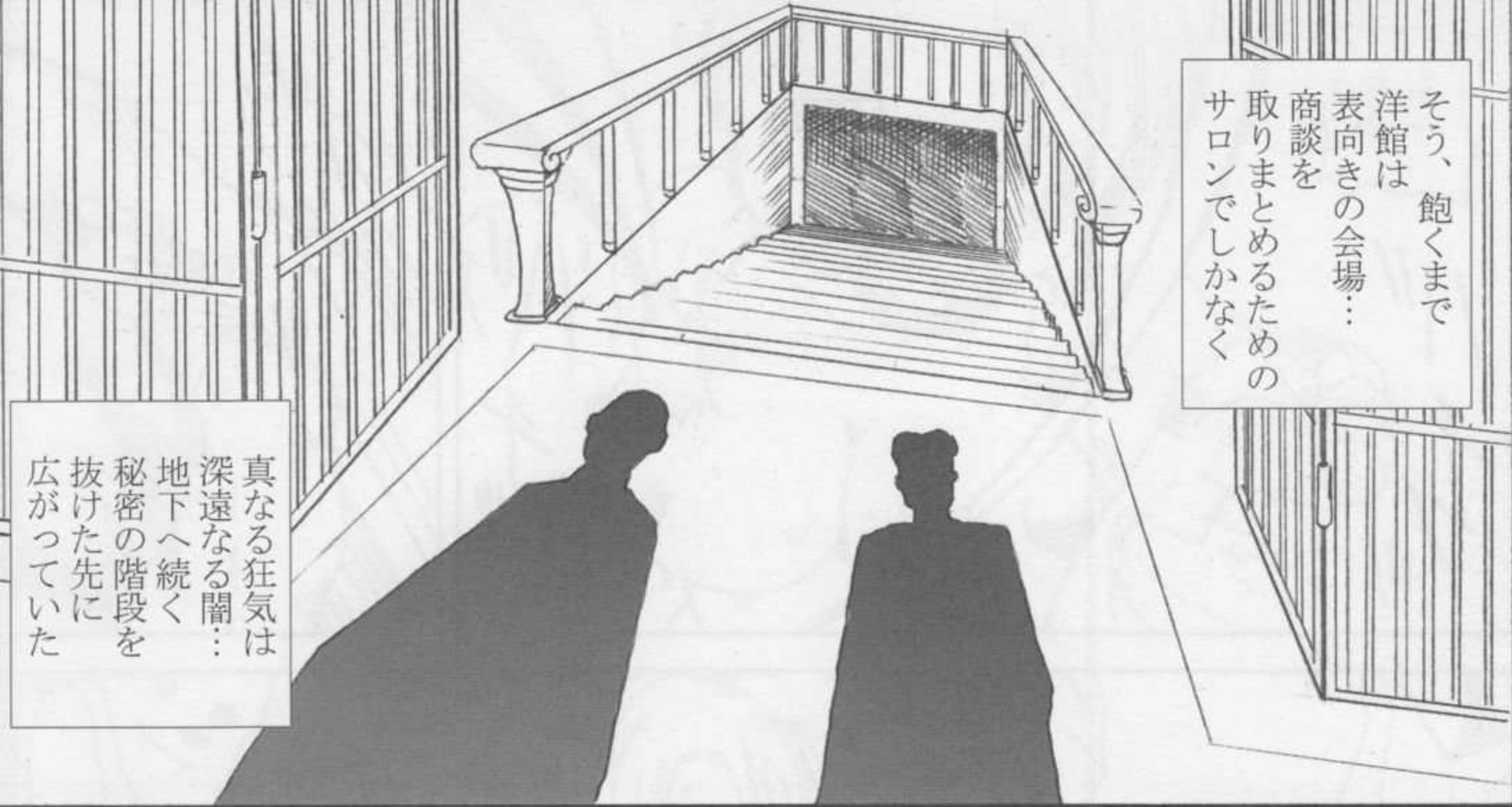
## 思い出したくもない屈辱の日々



## 好奇のまなざしが、私の局部に注がれる









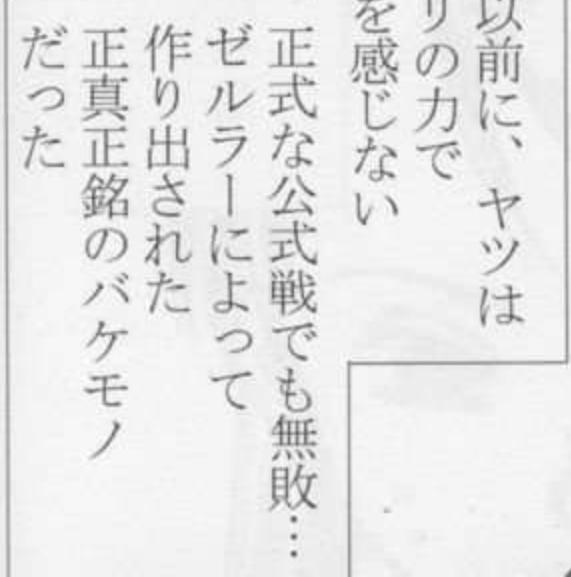
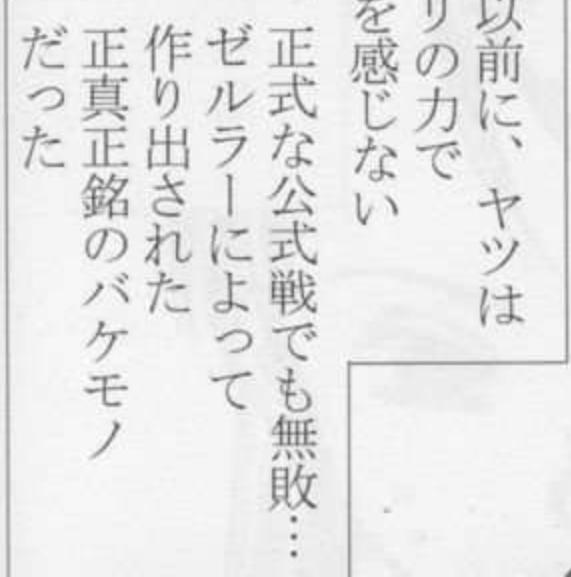
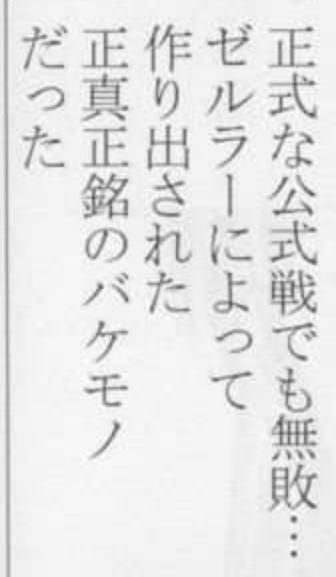
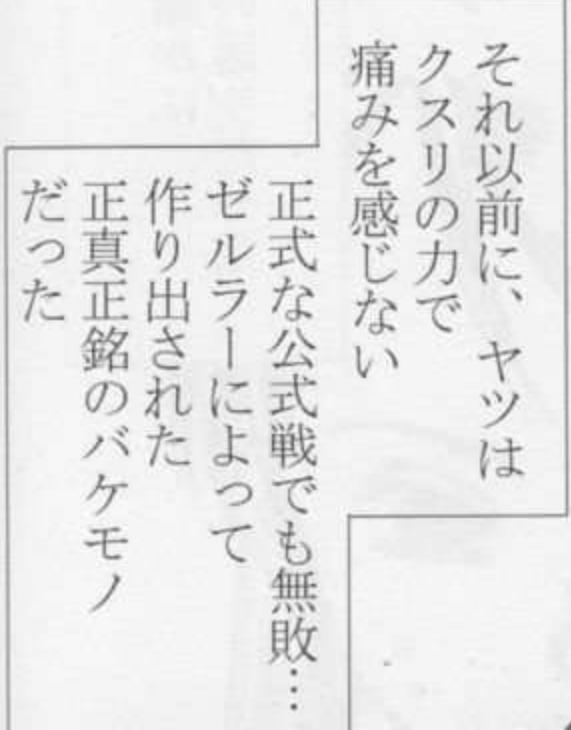




全身が性感帯と化した：哀れな奴隸への陵辱劇

：そんな理不尽な狂宴はゼルラーが良しとするまで続けられる





：でも、私は  
久々に戦える事に  
少しだけ  
心が弾んでいた

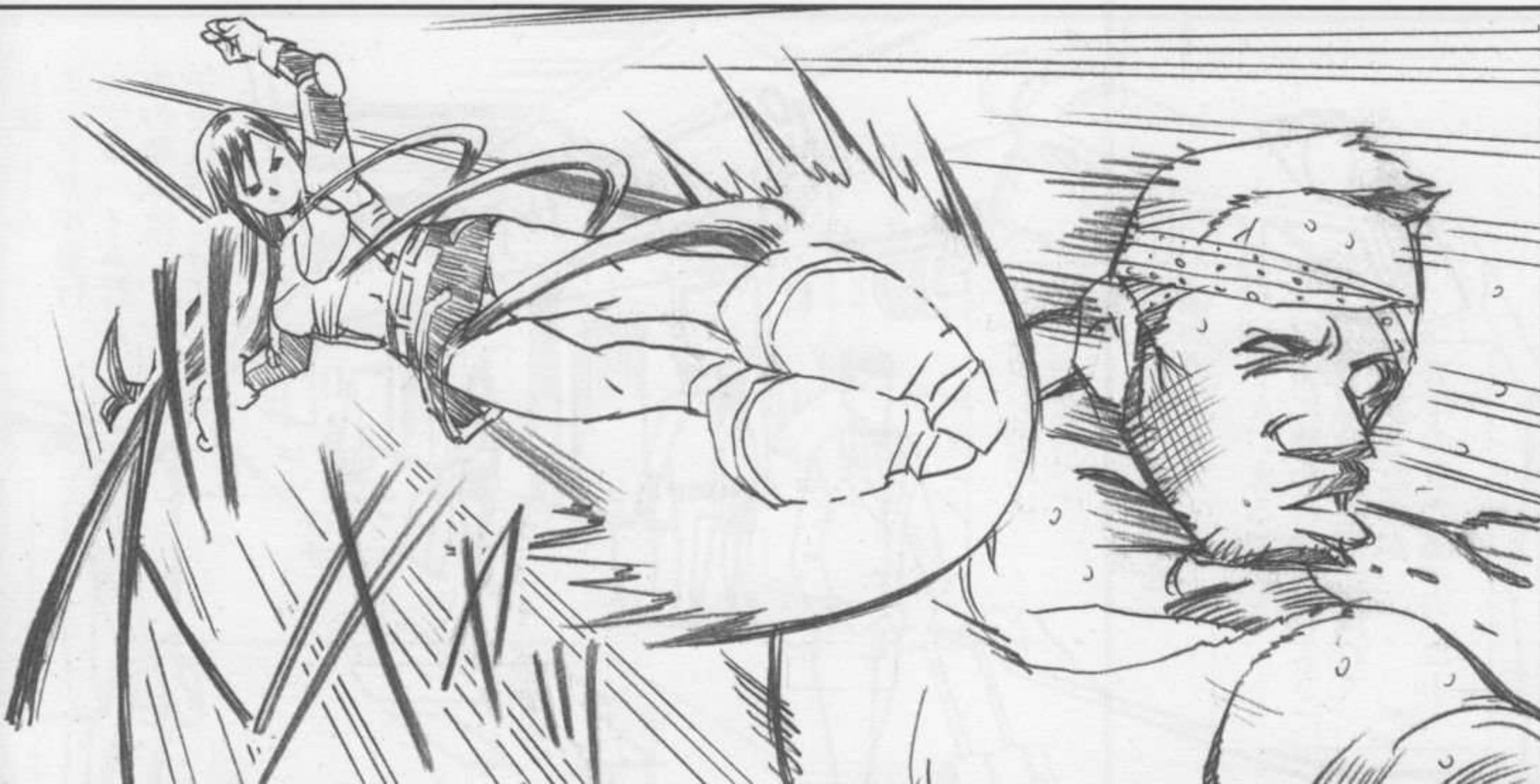
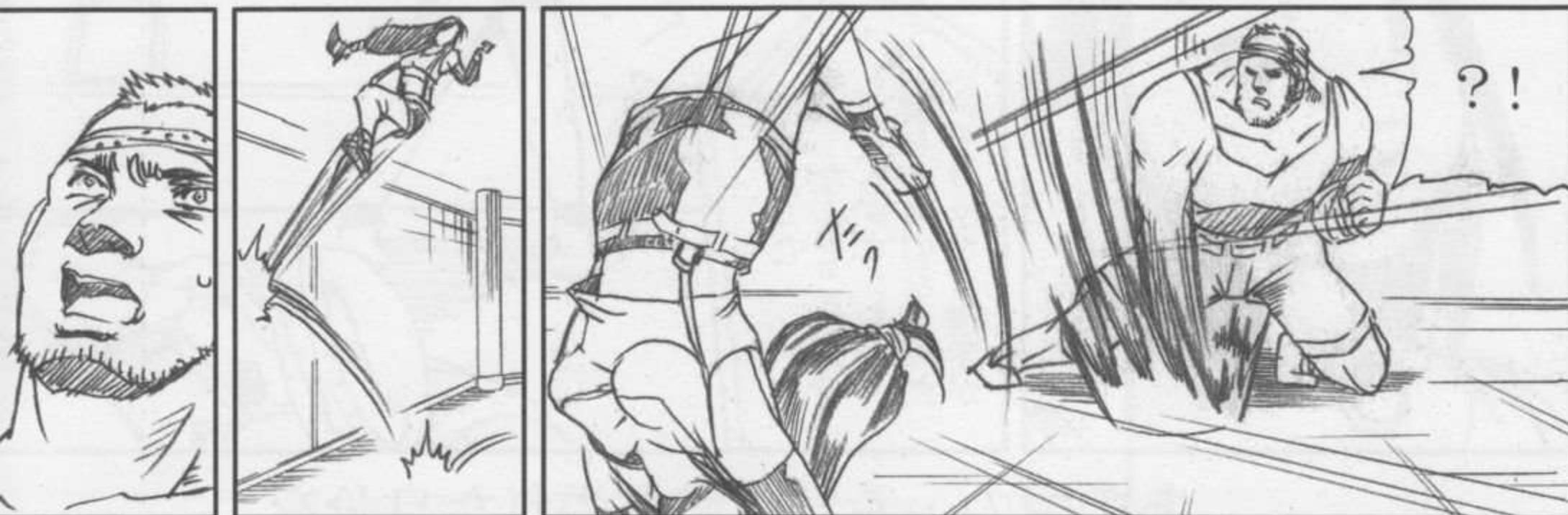
赤コーンナー  
ティファア  
ロックハート選手  
身長167センチ  
48キロ：

オツズは、9対1  
やはり圧倒的に  
ハナカマキリ選手に  
偏りました



：確かに  
その通りだった

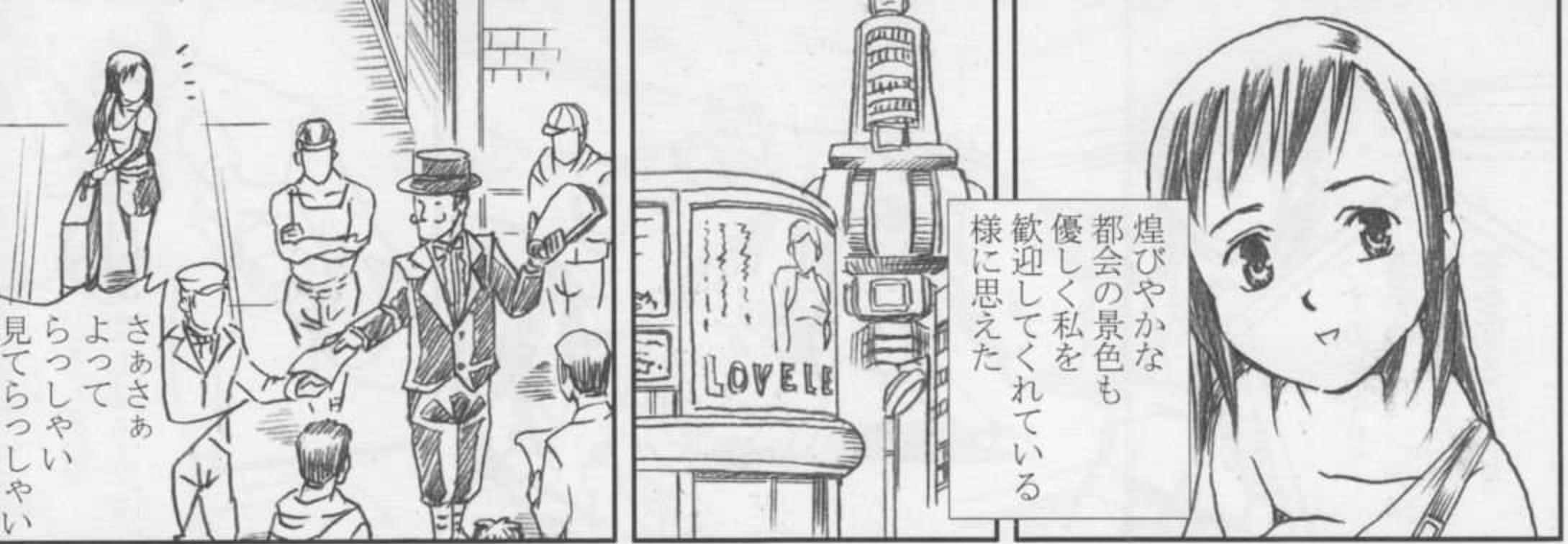


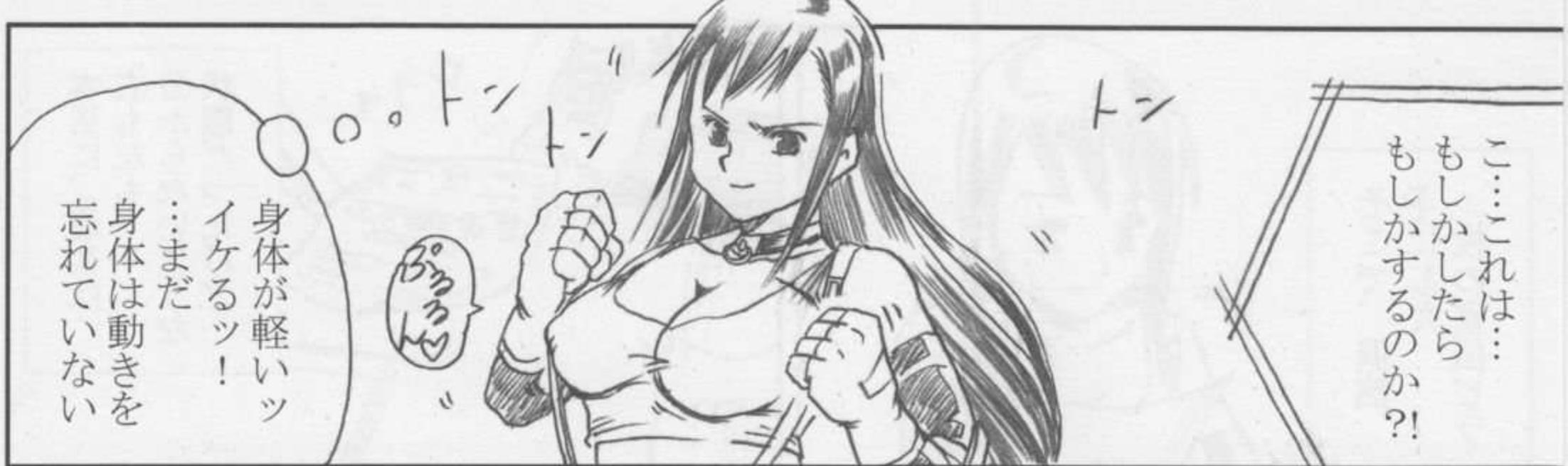




あの頃の…希望に満ち溢れた自分を

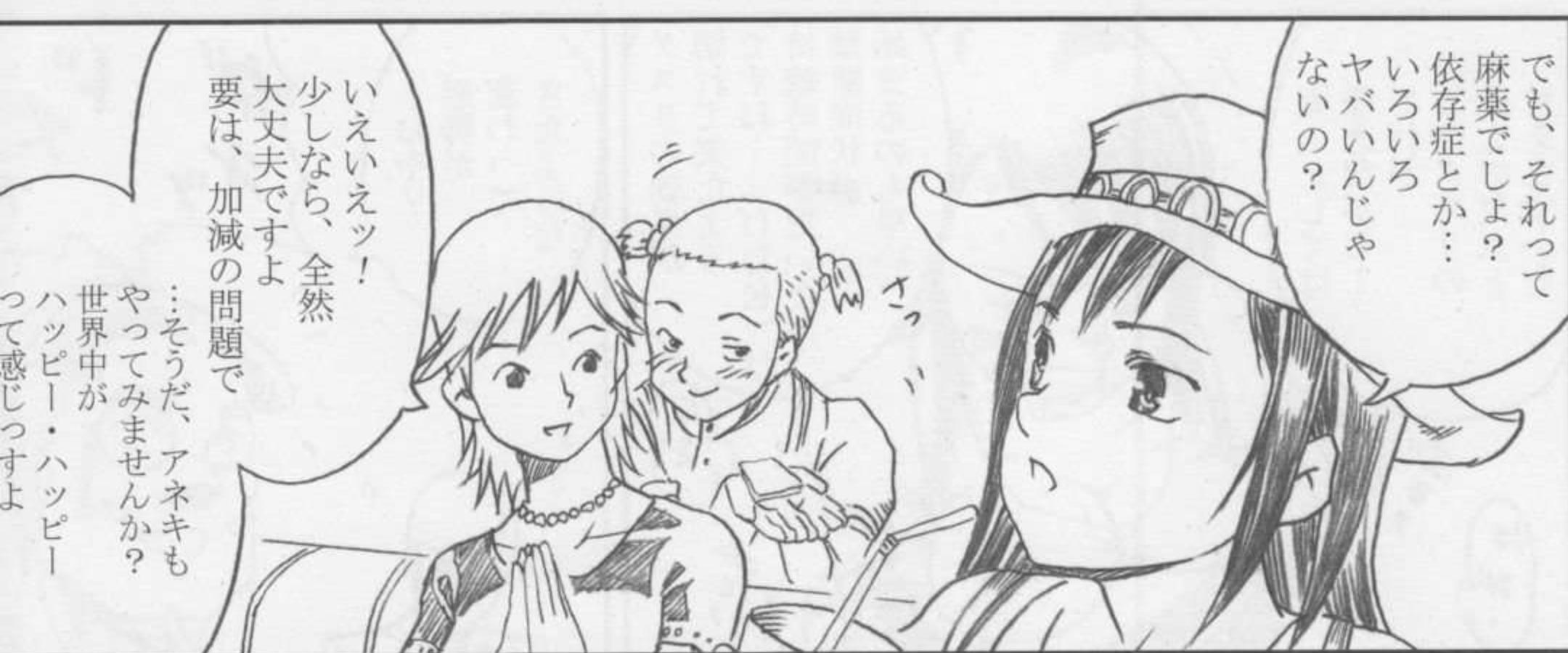






あの頃の…連戦連勝の毎日のように！







思わぬ生贊の抵抗で  
嗜虐心に火がついだ  
観衆のボルテージは  
最高潮に達して  
いるようだった



既に  
勝敗は決していた  
：気がつけば

：これから始まる  
狂乱の宴を前にして  
不思議に嫌な気分は  
沸き起つて  
こなかつた

気持チイイコトガ、ハジマルダケ…

戦闘意欲を無くした  
私に、野獣の  
剛棒が、容赦なく  
襲い掛かるッ



クスリの  
「DDK」の効果が  
まだ全身に  
残っていた  
：全身が性感帯の  
ように熱かつた





そんな無様な私に  
好奇の眼差しを  
送り続ける



無論  
これで  
終わりでは  
なかつた











精液まみれの私、悔しくて…、悲しかった…

…それでも  
身体は、なおも  
熱く…

…意思に反して  
男の肉竿を  
締め上げる

そして、全身に…  
果てることなく  
浴びせかける精液で  
何度もなく…無様に  
絶頂を迎えた



心は拒絶して  
いるに：  
身体は：  
日々だつた  
地獄のような

：でも  
逃げ出す事は  
出来なかつた

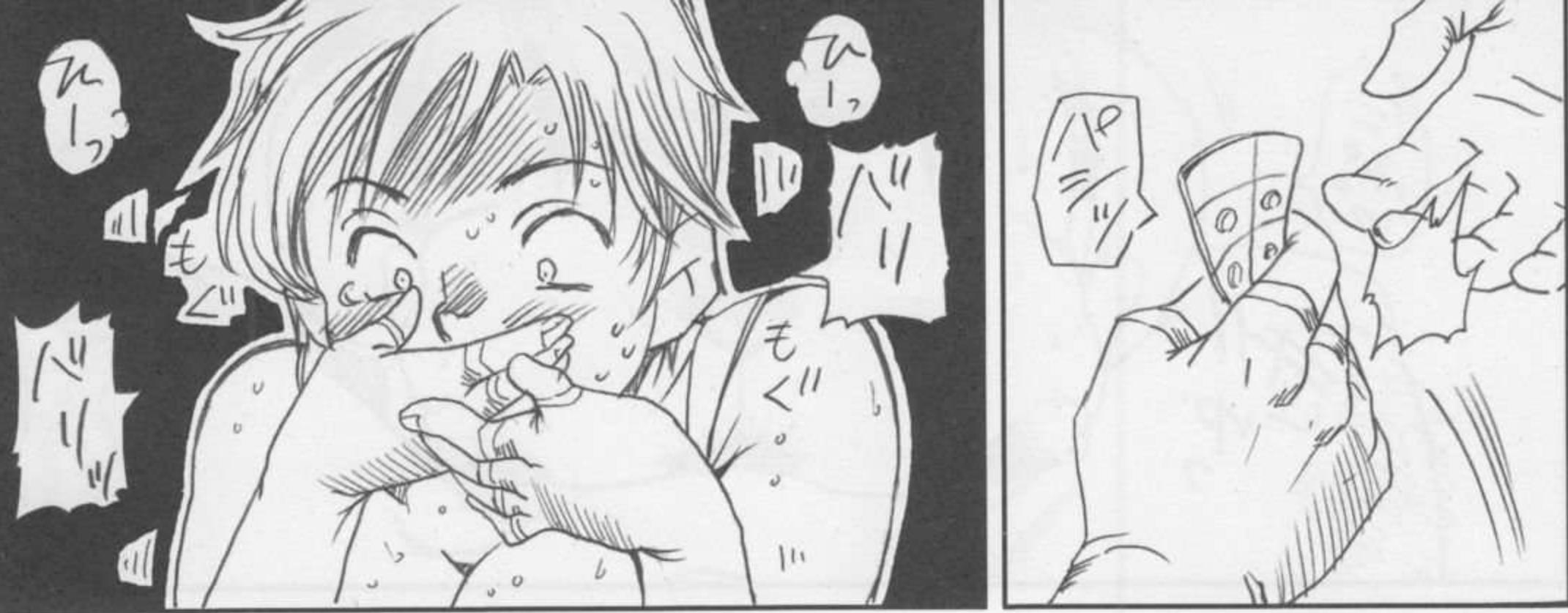


本格的な  
禁断症状が  
始まつたのだ

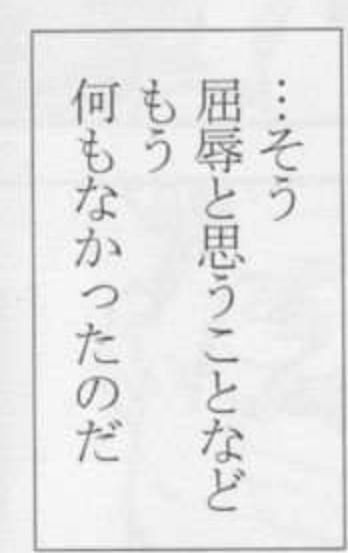


それは、一度  
経験した者にしか  
分からぬ：  
気が狂う程の  
恐怖と激痛だった





クスリに溺れた者達は  
更なる深みへ…泥沼に墮ちて行く…







はじめて  
貴様を見た時の：  
チャンピオンの：  
あの自信と希望に  
満ち溢れた表情ツ

このジジイ  
最初から  
それを  
知つていて…

それが今では  
ゼルラーに  
飼育された  
惨めな肉奴隸

：憎かつた  
何よりも  
クスリに溺れた  
バカな自分が  
一番、憎かつた

心からの：  
満足げな笑みを  
浮かべながら  
人生の敗者の膣内に  
思う存分、射精した

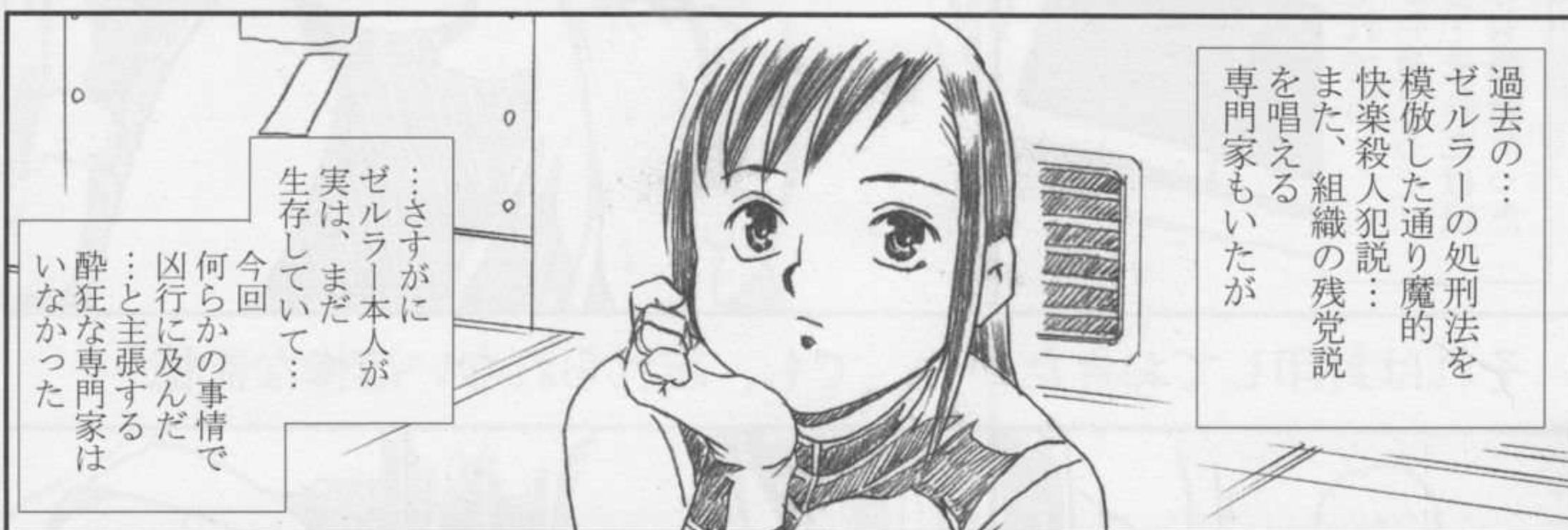
老猾な曲者は：  
そんな私の心の内を  
見透かした  
かのように：

…そして、今日もまた、一つの商談が成立した



それは封印しておきたい… でも、忘れられない凄惨な記憶…





ソウ…ワタシハ、シッティル



その場に駆けつけた  
看護士達は、そこで  
目を疑うような  
おぞましい光景を  
目の当たりにする

例の：陰惨な光景  
サキの  
バラバラ遺体の  
発見だ

それが  
午前2時過ぎ：  
正確には、午前  
2時12分の  
事だったらしい

※この箇所は、映像表現として  
不適切と自主的に判断したため  
後日、規制いたしました



看護士達は、皆  
一様に：  
その遺体の

当日は、非番で  
当然、院内には  
いない筈のサキが  
どうして  
こんな時間に  
こんな場所で  
殺害される経緯に  
感じたそうだ



犯行自体は  
人目につき難い  
旧病棟内で起こった  
とはいえる  
そう、犯人は  
なぜ  
こんな場所で…

病院の敷地内は  
一般的に  
警備が厳重だ

外部からの侵入を  
防ぐのは、もとより  
実のところ…入院  
患者の徘徊・脱走を  
予防するためでも  
あるらしい



外部犯人説：  
通り魔的な犯行だと  
しても、または組織の  
残党の犯行だとしても  
わざわざ、そんな院内で  
凶行に及ぶ理由が  
見当たらない：

内部犯だとしたら  
尚更、わざわざ自分の  
素性が特定され  
しまう様な場所で  
このように痕跡を残す  
ものだろうか？

また犯人…グループの  
人物・集団像にも  
疑問が残る：

病院に激しい恨みを  
持つものの  
犯行だとしても…  
勤務する看護士一人を  
ここまで陰惨な殺し方で  
殺害するものだろうか？



捜査当局の見解では  
サキ個人：その周辺には  
特別、恨みを持たれる  
様なトラブルは、存在  
しなかつたらしいが：

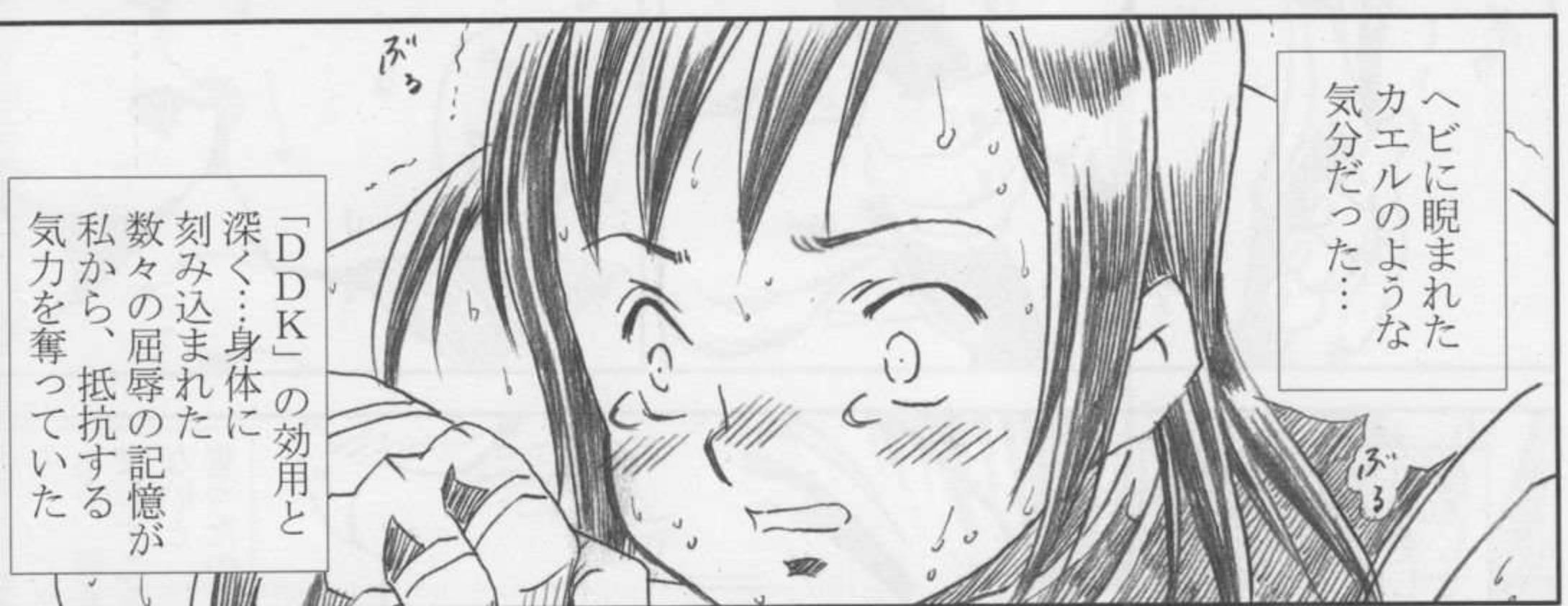
しかし、サキも  
元「人蝶」：他人に  
知られたくない  
過去など、秘密を  
周囲に隠し徹す事には  
慣れていたハズだ

後、気になつたのが  
：検死の結果だ  
死亡推定時刻は  
午前0時15分から  
発見された

その日、サキは  
非番だったにも  
かかわらず：  
なぜ、そんな時間に  
仕事着を着た状態で  
病院内を、うろついて  
いたのだろうか：







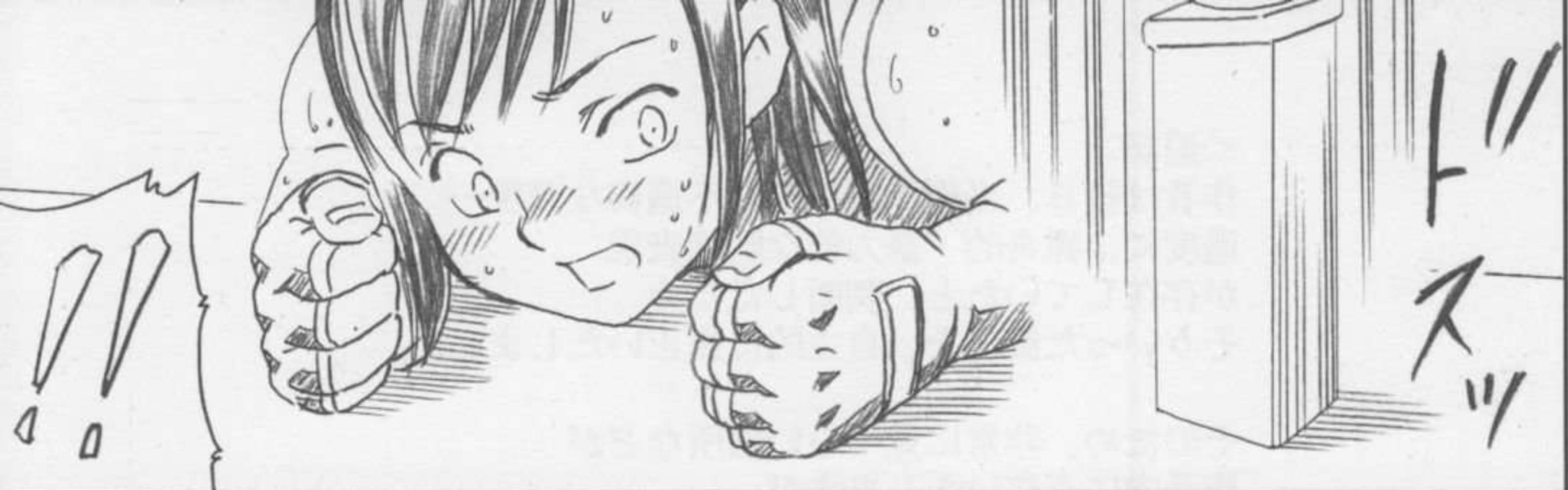












To be continued...

<追記>

作者は後日、当作品内には、不適切な表現…  
過度に、猟奇的・暴力的な映像表現  
が存在していたと、判断したため  
そういった箇所を、自主的に修正いたしました。

そのため、非常に見づらい箇所などが  
作品内に点在いたしますが  
どうか、ご了承ください。

また、今回は、ストーリーの形式・展開上  
不本意ながら、そのような不適切な表現を  
するに至りましたが、作者は決して  
そういった猟奇的・暴力的嗜好を  
肯定・助長する意図はなかった事を  
ここに明記しておきます。

## 既刊のお知らせ



### アカレイヒカリ -獣欲姫獄ナナル-

2007年 12月16日 発行

B5／64P／販売価格800円

とらのあな  
メロンブックス  
メッセセンオー

各書店さんで  
お取り扱いいただいています。

また現在、当サークルのHP上での  
通信販売は、行っておりません。

# あとがき

<追記その2>

これが、ミステリー初挑戦だったわけですが  
やっぱ、我輩…ミステリー作り慣れてませんわ。。。。

「事件の真相」を  
知っているか・知っていないかで  
かなり…殺人事件のシーンの  
受け取り方が変わって来る事に  
気がついたのが、入稿直前の事でした。。。 (汗)

被害者・事件の事を、その時点での展開から…  
「単純に、被害者」「単純に、そういう事件」だと  
受け止めて読んでしまうと  
それは、かなり…当方の本来の意図とは  
シーンの印象が異なって来て…結果  
獵奇的で、暴力的に感じられるという点に  
直前まで、気がつきませんでしたから。。。 (汗)

(↓以下、本来の「あとがき」になります・・・)

ご無沙汰してます。  
今回は、6ヶ月のスパンで、戻って来れました (笑)

…はじめましての方には、何がなんだか  
よくお分かりにならないでしょうが (汗)

これまで我輩、体調を崩したり…  
いろいろ (苦笑) ありまして、今の状態に至っています。

…まあ、現在でも逐一、HPで近況の方は報告しておりますので  
興味のある方は、覗いてやって頂ければ幸いです。  
(※HPのアドレスは、奥付に記載しています)

…で、作品についてですが☆、今回の作品は、長編ミステリー (のつもり…汗)  
の第一話目で、主人公の…名探偵のトモコさんが  
事件の本格的な調査に乗り出すまでの経緯を描いてます。

「えっ…ティファは？！」などというお声は、我輩の耳には聞こえません。  
ふふふ…それは、2話目の冒頭まで、一応、秘密なのです…くくくくく。

(↑それ以前に、2話目出るんでしょうかねえ…汗)

…そんな、相も変わらずの  
あらゆる意味で、不甲斐のない我輩ですが (苦笑)  
どうぞ、これからもこれまでと変わらず  
よろしく応援してやっていただければ  
本当に幸いです。

BY. ぱぴぱいん

# MIDGAR UNDERGRouND CAPTER1:ティファ敗濁乳滅

<奥付>

## 発行日

2008年 7月26日 発行

## 連絡先

〒536-0014  
大阪市 城東区 鶴野西2丁目20-12  
アルバト 301号室  
高田方「あぶらかたぶら」

<E-Mail> papipunyon@ybb.ne.jp

## Homepage Address

<http://www.geocities.jp/papipunyon/>

## 印刷所

大陽出版 様

## 発行

あぶらかたぶら <since1995>

- ・この本は、成年向きの内容になっているので、  
18歳未満の購買を禁じます。
- ・この本の内容を無断で複製、または転載することはお断りします。
- ・できれば、ご感想、ご意見、苦情等を送って下さると  
とても有り難いです。

夏の陽光に、きらめく汗…  
あの日、勝利の美酒に酔いしれた  
健やかで、艶やかな弾乳も  
…今や  
毎夜、獣共に揉み潰されるだけの  
哀れな肉塊でしかなかつた…

Abura  
katabura  
since 1995

for ADULT only